

# 補助金交付申請書の記入例

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

愛知県知事 殿

必ず本名で記入。芸名等を使用したい場合は本名の下に記入。  
※職名も必ず記入してください。(特に職がない場合は「代表」と記入)

所在地 〒〇〇〇-〇〇〇〇  
〇〇市〇〇町〇番地  
団体名 ◇◇◇楽団

(ふりがな) 代表者職・氏名 代表 あいち いちろう 愛知 一郎

(芸名 △△ △△)

代表者生年月日 〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日

## 2023年度文化活動事業費補助金交付申請書

文化活動事業費補助金の交付を受けたいので、文化活動事業費補助金交付要綱第3条の規定によって、下記のとおり申請します。

記 申請する区分にチェックをつけてください。

### 1 交付を受けようとする事業の内容

申請区分	<input type="checkbox"/> 企画提案事業 <input type="checkbox"/> 誰もが参加・鑑賞可能な文化芸術事業 (該当事業にレを付してください)	
申請事業	分野	事業名

分野についても記入してください。

※分野は、「音楽・演劇・舞踊・伝統芸」のうち、いずれか一つを記入してください。

「音楽・演劇・舞踊・伝統芸能・美術・メディア芸術・文学・生活文化ほか」のうち、いずれか一つ

### 2 補助金交付申請額

事業費①	補助金算定基礎額②	補助金交付申請額③
〇〇〇,〇〇〇円	〇〇〇,〇〇〇円	〇〇〇,〇〇〇円

- 3 添付書類 (1)事業実施計画書 (別紙様式)  
(2)団体活動状況調 (別紙様式)  
(3)収支予算書 (別紙様式)  
(4)その他参考資料

※事業を既に中止・変更している場合の追加書類

連絡先 (事務担当者)	氏名	〇〇 〇〇	電話	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
			FAX	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
	Email	〇〇〇@△△△		
	住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇郡〇〇町〇〇1-1		

注1 愛知県では、事務・事業から暴力団を排除しています。愛知県文化活動事業費補助金交付要綱及び愛知県文化活動事業費補助金実施細則に基づき、暴力団を利すると認めるときは、補助金を交付しません。また、交付決定後にその旨が明らかとなったときは、交付決定を取り消し、又は補助金の返還を求めることがあります。

注2 本申請に係る補助金の交付が暴力団を利するかどうかについて、愛知県警察本部長に申請者の住所、氏名、電話番号その他申請書及び添付書類に記載された情報を提供し、意見を聴くことがあります。

(別紙様式)

## 事業実施計画書(その1)

事業名	〇〇〇演奏会、〇〇〇美術展、公演「〇〇〇」など			事業名・実施団体名は交付申請書と同じ名称で記入してください。
実施団体名	◇◇◇楽団			
実施場所	〇〇市民会館大ホール			必ず月日まで記載。 (不明な場合は終了月末) 中止等の場合は計画時の年月日。
事業期間	〇〇〇〇年〇月〇日( )~〇〇〇〇年〇月〇日			
公演(展示)日(回)数	〇〇日( 〇回)	出版部(回)数	〇〇部( 〇回)	
事業の内容				刊行物の出版を行う事業でなければ記入不要(事業のパンフレットや報告書等の部数を記入するものではありません)
〇〇の演奏 主な曲目 〇〇〇作曲「〇〇〇」など 〇〇画の展覧会 一般公募期間、審査予定日、出品点数など 演目「〇〇〇」 作者、演出者、出演者、あらすじなど				
<ul style="list-style-type: none"><li>・事業の内容がよくわかるように、詳しく記入してください。</li><li>・事業実施計画書(その2)には、審査基準ごとの内容を記入してください。</li><li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した場合は、その旨を記入してください。</li><li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、変更した場合は、変更前と変更後の事業実施計画書(その1)と(その2)を提出してください。</li></ul>				
事業の目的				・公演や展示会等を鑑賞に来ると思われる人達の在住地域 ・配信の場合は配信方法や対象
〇〇文化の発展のため〇〇事業を行う。				
参加者数(出品点数)		入場者数		入場者等の地域  例) △△市始め近隣市町村
会員	〇〇人(〇〇点)	有料	〇〇〇人	
非会員	〇〇人(〇〇点)	無料	〇〇〇人	
計	〇〇人(〇〇点)	計	〇, 〇〇〇人	
共催	〇〇新聞社、〇〇テレビ放送			実行委員会形式(共催)の場合 「共催 〇〇協会、〇〇市等」
後援	〇〇市教育委員会、〇〇市			
協賛等	〇〇株式会社、〇〇株式会社			

## 事業実施計画書（その2）

事業名	〇〇〇演奏会、〇〇〇美術展、公演「〇〇〇」など
実施団体名	◇◇◇楽団

### 審査基準ごとの、事業の詳細（PRできるものは何か）

子ども、障害者など多様な人々が等しく文化芸術に親しむための工夫や配慮があり、県民の参加や鑑賞機会の提供に貢献している事業か。

#### 【例】

- ・公募展覧会や出版事業において、子ども、障害者などの作品の枠を設ける。
- ・公演事業の出演者について、より広く募る工夫をする。
- ・パンフレット、作品紹介、図録などに多言語を併記する。多言語版を作成する。  
易しい日本語版、点字版などを作成する。
- ・子ども向けや外国人向けなどのガイドを行う。
- ・出版物を福祉施設、学校など、より様々な人に届くよう頒布する。
- ・バリアフリーの会場を使用する。公演において親子席や車いす席を設ける。

など

#### その他、アピールできる事項

※先駆性、実験性：活動内容が先駆け、あるいは新しい試みなど独創性に富んでいるか。

※発信性、国際性：愛知の文化芸術を国内外に向けて発信しているか。

※将来性：次代を担うことが期待される芸術家等の文化芸術活動か。

など

両項目について、詳しくアピールしてください。この欄の記載内容は、企画審査会で選考する際の審査材料になります。

(別紙様式)

ふりがなも忘れず記入

# 団体活動状況調

職・ふりがなも忘れず記入

(ふりがな) 団体名	(◇◇◇がくだん) ◇◇◇楽団	(ふりがな) 代表者 職・氏名	代表 あいちいちろう 愛知一郎
所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇番地		
電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	設立年月日	〇〇〇〇年〇〇月〇〇日
団体構成員	総人員（当該年度の4月1日現在）		〇〇人
	内訳 団員 〇〇人、準団員 〇〇人		
目的	〇〇〇〇は、発足以来、〇〇に関する〇〇演奏を目的として、 〇〇〇……		
沿革及び 主な活動実績	〇〇〇〇年4月 ××××管弦楽団		設立
	}		
	〇〇〇〇年9月 第13回〇〇演奏会(〇〇会館)		設立時は必ず記入してください。
	〇〇〇〇年9月 ◇◇◇◇管弦楽団に団体名を変更		
	〇〇〇〇年8月 15周年記念公演		設立以降に団体名の変更がある場合は必ず記入してください。
	〇〇〇〇年7月 △△コンクール〇〇賞受賞		
	〇〇〇〇年9月 第16回〇〇演奏会(〇〇会館)		
	〇〇〇〇年1月 第1回□□演奏会(□□ホール)		
〇〇〇〇年9月 第17回〇〇演奏会(〇〇会館)			
助成実績	直近過去5年間（2018年度～2022年度）における、 愛知県文化活動事業費補助金の交付決定回数 × 回 〇～5のいずれかの数字を記入。 0となる場合は、「新規団体」の扱いとなります。 ※一度交付決定がされた後、採択事業の中止、廃止等が生じた場合であっても、交付決定回数に計上。		

記入例 ①

企画提案事業  
誰もが参加・鑑賞可能な文化芸術事業

収 支 予 算 書 ( 2 - 1 )  
決 算

1 収入の部

(単位：円)

項 目	金 額	内 訳
公的助成	〇〇〇, 〇〇〇	〇〇〇市補助金 〇〇〇円 (昨年度実績で記入。新規に申請する場合は申請額等を記入してください。)
入 場 料	〇〇〇, 〇〇〇	〇〇円 × 〇〇人 × 〇公演 = 〇〇〇円 (入場見込〇〇% <small>積算</small> )
広 告 料	〇〇〇, 〇〇〇	〇〇会社 〇〇〇円 〇〇円 × 〇社 = 〇〇円
その他収入	〇〇〇, 〇〇〇	協賛金 〇〇会社 〇〇円 プログラム、図録等売上 〇〇円 × 〇冊 = 〇〇円 など
小 計 ㉔	〇〇〇, 〇〇〇	
県補助金 ㉕	〇〇〇, 〇〇〇	
自己資金 (A - C - D)	〇〇〇, 〇〇〇	
合 計 A	〇〇〇, 〇〇〇	

入場見込数は「事業実施計画書(その1)」の有料入場者数と合致するよう記載  
有料で事業を実施する場合は、必ず記載してください。

申請額を記入  
千円未満切り捨て  
※誰もが参加・鑑賞可能な文化芸術事業の場合は  
200,000

※ 県補助金 ㉕欄には、収支予算書においては補助金交付申請額、収支決算書においては補助金交付決

以下は、企画提案事業に  
申請する団体のみ記入

申請額は、以下の(1)又は(2)のいずれか低い額(ただし、千円未満切捨て

(1) 自己負担額(A - C) \_\_\_\_\_円

(2) 「新規団体」(2018(H30)年度以降に愛知県文化活動事業費補助金の交付決定を受けたことのない団体。なお、交付決定後、補助事業の中止、廃止等が生じた場合であっても、交付決定を受けたものとする。)は①、「それ以外の団体」は②に記入

① 補助金算定基礎額(B) × 1/2 \_\_\_\_\_円

② 補助金算定基礎額(B) × 1/3 \_\_\_\_\_円

※ 誰もが参加・鑑賞可能な文化芸術事業の補助金交付申請額は、一律20万円とする。

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、事業を中止又は事業内容を変更した結果、補助金算定基礎額又は申請額の下限額を下回る場合は、この下限額を適用しないものとし、誰もが参加・鑑賞可能な文化芸術事業においては、自己負担の範囲内で、補助金算定基礎額の2分の1を補助金額とする。

※ 事業区分ごとの補助金算定基礎額及び申請額

事業区分	補助金算定基礎額	申請額
企画提案事業	150万円以上 (新規団体は 100万円以上)	自己負担の範囲内で補助金算定基礎額の3分の1(新規団体は2分の1)以内(100万円を上限とし、50万円未満は対象外)(千円未満は切捨)
誰もが参加・鑑賞可能な文化芸術事業	40万円以上	20万円(自己負担の範囲内)

記入例 ②

企画提案事業  
誰もが参加・鑑賞可能な文化芸術事業

収 支 予 算 書 ( 2 - 2 )  
決 算

2 支出の部

(単位：円)

項 目		金 額	内 訳
補助対象経費	公演・展示等に要する事業費	会場費	000,000 会場使用料 00円×0日=00円 付帯設備費 00円×0日=00円 など
	舞台費	000,000	大道具00円、音響00円、小道具00円 照明00円、衣装00円、調律代00円 など (領収書で確認できるものに限る)
	会場設営費	000,000	会場設営費00円、会場撤去費00円 感染対策備品レンタル費00円 など (領収書で確認できるものに限る)
	運搬費	000,000	楽器運搬費00円、道具運搬費00円 など (領収書で確認できるものに限る。ガソリン代不可)
	映像制作・上映費	000,000	フィルム関係費00円、美術費00円 など
	記録費	000,000	記録映像作成委託費00円 など
出版	出版費	000,000	刊行物発行費 00円×0部=00円
その他	印刷費	000,000	プログラム(0部)00円、チラシ(0部)00円、 チケット(0部)00円、デザイン・原稿料00円 など * (上限50万円)
	広告宣伝費	000,000	00新聞掲載料 00円、週刊△掲載料 00円 * (上限50万円)
小 計 ㉑		000,000	* 補助金算定基礎額
補助対象外経費	印刷費・広告宣伝費 (上限超過分、 対象外分)	000,000	印刷費 50万円超過分 00円 広告宣伝費 50万円超過分 00円 コピー代00円、インク代00円 など <b>※印刷費及び広告宣伝費の50万円を超える部分は補助対象外経費に計上してください。</b>
	その他 (文芸費、音楽費、 出演料等を計上し てください。)	000,000	著作権使用料00円、台本費00円、 公募等に係る審査料00円 など 著作権使用料00円、作詞・作曲・編曲料00円、 楽譜料00円 など 舞台監督料00円、演出料00円、 出演料00円×0人=00円 など 郵送料00円、振込手数料00円、 クリーニング代00円 など
	小 計 ㉒	000,000	
合 計 ㉓		000,000	

※以下のものは計上できません。補助対象外経費としても記載しないでください。  
 ・食糧費(レセプション・パーティー経費、お弁当代、お茶代等を含む)  
 ・団体運営費、事務所維持費(電話代、FAX代等含む)  
 ・楽器、事務機器等の購入費及び修理費  
 ・交際費及び接待費(祝儀、花束、手土産等)  
 ・公募に要する経費のうち、賞金、賞品・記念品代等  
 ・その他、当該事業を実施したことによりかかった経費として認められない経費及び団体が負担すべきと認められる経費

—新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、申請時点で既に事業を中止・変更している場合の必要書類—

### 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業を中止している場合

- ・申請書一式(予定していた事業内容)
- ・収支決算書

※補助金交付申請額は、予定していた事業内容の収支予算書を元に算定してください。

### 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業内容を変更している場合

- ・申請書一式(変更前)
- ・収支決算書(変更後、実施済の場合)又は収支予算書(変更後、未実施の場合)
- ・事業実施計画書(変更後)

※補助金交付申請額は、変更前の収支予算書を元に算定してください。